

登壇者プロフィール

第1部 講演「居心地の良いまちからはじめる都市の再生」



山田 大輔 氏（国土交通省都市局まちづくり推進課
官民連携推進室長 兼 国際競争力強化推進官）

1982年長野市生まれ。2006年国土交通省入省。港湾・河川・道路事務所、民間不動産会社、東北地整都市・住宅整備課長、都市局都市計画課課長補佐、神戸市企画調整局副局長等を歴任。現在は都市経営課題の解決に向けた官民連携まちづくりに関する各種制度の企画・立案を担当。ワーク・ライフ・インテグレーションをモットーに専門性と生活者の両面で都市生活を楽しむアーバニストを目指して活動中。2022年4月より現職。

第2部 まちなかアイデアディスカッション

進行

名畑 恵 氏（錦二丁目エリアマネジメント株式会社 代表取締役／NPO法人まちの縁側育くみ隊 代表理事）

春日井市生まれ。全国各地の地域活動や公共事業等にファシリテーターとして携わる。名古屋錦二丁目地区では学生のころからまちづくりのサポートを行っており、2018年3月には地縁組織と共に錦二丁目エリアマネジメント株式会社を設立し、まちづくり拠点「喫茶/スペース七番」を営む。

大野 暁彦 氏（名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 准教授）

1984年生まれ／千葉大学にて博士（農学）取得。登録ランドスケープアーキテクト。文化庁新進芸術家派遣制度にて渡蘭。中央大学理工学部助教を経て現職。高蔵寺駅、新那加駅、蘇原駅の駅前広場ほか様々な公共・民間の外部空間の設計を手掛ける。グッドデザイン賞、日本経済新聞社賞ほか受賞多数。

喜多 茂樹 氏（株式会社エコ建築考房 代表取締役）

1978年京都生まれ／（株）エコ建築考房代表取締役社長。一宮まちなか未来会議副代表。一宮環境基本計画等推進協議会委員。お客様の1割は同業者、社員の2割はお客様が働くというユニークな会社として2021年「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」審査委員会特別賞受賞。

ショコラ 氏（LOCOCO by尾州ロリィタ オーナー）

一宮市出身在住／一宮市を愛してやまない。本町商店街でロリィタ体験サロンを営みつつ、尾州毛織物を使ったロリィタ服の製作を行う。大好きな“ロリィタファッション”と“尾州毛織物”、“一宮市”をより良い形で広めていきたい。

出村 嘉史 氏（岐阜大学社会システム経営学環 教授）

1975年生まれ／京都大学で博士（工学）を取得後、京都大学で助教を務め、岐阜大学工学部の准教授、令和3年より現職。景観工学、都市形成史が専門。古ビルを自らリノベーションしたまちなかの研究室「美殿町ラボ」を開設するなど現場に根ざした活動を行う。

富田 隆裕 氏（一宮市銀座通商店街振興組合 理事長）

1970年一宮市生まれ／既婚、子供一人／上智大学経済学部卒業後、東京都、大阪府、広島県の会社員生活を経て2002年に実家のホテル事業を引き継ぎ現在に至る。ホテル事業は35周年を迎える。／一宮市銀座通商店街理事長を16年以上務める。／一宮まちなか未来会議 理事に2021年就任。

西村 浩 氏（株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役）

1967年佐賀市生まれ／1993年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、1999年ワークヴィジョンズ設立。土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は、建築・リノベーション・土木分野のデザインに加えて、全国各地の都市再生戦略の立案にも取り組む。

星野 博 氏（まちづくりNPO法人志民連いちのみや（都市再生推進法人）理事長／税理士）

「杜の宮市」ほか市民イベントや、コミュニティカフェ「三八屋」、地ビール工房「一宮ブルワリー」等を企画運営。一宮市ウォークアブル事業「ストリートチャレンジ」事務局を担当。一宮市市民活動支援センター運営統括マネージャー。